

平成23年6月27日（月）

東北IM連携協議会（TAIM）第5回総会

次第

1. 開会

2. 挨拶 東北IM連携協議会代表幹事 柿崎 博美

3. 議事

（1）第1号議案

- ・平成22年度事業報告について
- ・平成22年度収支決算報告について

（2）第2号議案

- ・平成23年度事業計画案について

（3）その他

- ・震災状況や各県の動きについて （各県IM）
- ・JBIA東日本大震災被災ビジネス再復興促進活動について （農本S r. IM）

4. 閉会

(1) 第1号議案

・平成22年度事業報告

1. 東北IM連携協議会ワークショップ in 石巻 ・ ・ ・ ・ ・ 資料1

期 日 : 平成22年7月8日(木) 13:40～ 総会、ワークショップ
9日(金) 9:30～ 工場見学
会 場 : 宮城県石巻市 石巻市役所6階市民ホール
参加人数 : 64名(各県IM、地域大学、関係機関、金融機関、企業等)

2. 東北IM連携協議会ワークショップ in 大館 ・ ・ ・ ・ ・ 資料2

期 日 : 平成22年10月14日(木) 14:00～ ワークショップ
15日(金) 9:00～ 工場見学
会 場 : 秋田県大館市 大館中央公民館 視聴覚ホール
参加人数 : 44名(各県IM、地域大学、関係機関、金融機関、企業等)

3. ビジネスマッチ東北2010 出展・マッチング協力

期 日 : 平成22年10月27日(水)
会 場 : 宮城県仙台市 夢メッセみやぎ
参加内容 : 協議会ブース展示・マッチング協力

*出展に際し、(社)日本ビジネス・インキュベーション協会様のご協力によりパネルを作成しました。

4. 幹事会

第4回東北IM連携協議会臨時幹事会

期 日 : 平成22年4月26日(火)～27日(水)
時 間 : 26日 14:30～ 27日 9:30～
場 所 : (独)産業技術総合研究所東北サテライト
協議事項 : ①人事の確認について
②今年度の事業計画と東北各県の事業について
③経済産業省の今年度事業について
④その他
・イノベーションネット事業について

第5回東北IM連携協議会幹事会

期 日 : 平成22年8月19日(木)～20日(金)
時 間 : 19日 15:00～ 20日 9:30～
場 所 : 花巻市起業支援センター会議室・ビジネスインキュベータ
協議事項 : ①今年度事業計画について
・ビジネスマッチ東北2010 協力について
②協議会今年度事業の方向について
・ワークショップ
・分科会について
③その他(施設見学含む)

第6回東北IM連携協議会幹事会

期 日 : 平成23年3月9日(水)～10日(木)

時 間 : 9日 14:00～ 10日 9:30～

場 所 : (財)あきた企業活性化センター 5階52会議室

協議事項 : ①今年度事業について 検証

②規約改正(案)について

③次年度事業計画について

④その他

B I 間連携活動等について 中小企業基盤整備機構東北支部

第2日目〈支援企業事例発表及びIMによるCoaching〉

① 9:30～10:15 浜口中央技術研究所(創業支援室入居企業)

発表者 加賀谷達代表 テーマ「失敗例と成功例の3年」
～家庭用炭酸泉濃度計の開発～

②10:15～11:00 (株)アルテ(支援企業)

発表者 時田和幸社長 テーマ「秋田杉のギター開発」

③11:00～12:00 質疑応答(各IMからのアドバイス等)

「東北 IM 連携協議会 W.S.in 石巻」開催報告

(株)テクノプラザみやぎ 齊藤 方達

はじめに：

石巻産業創造（株）と石巻市の協力を得て、開催した。宮城県では東北 IM 連携協議会の行事を仙台以外で初めて開催した。

周知のように、先の震災で石巻市は、甚大な被害を受けた。受入りに尽力いただいた皆さんは、現在も日々の災害対応に追われる状況にある。

当面は、現状の改善に努力することになるが、長期的には産業の再生が議論される。その際に、BI/IM の考えが一助になると考える。

開催概要：

事業名	「東北 IM 連携協議会ワークショップ in 石巻」
期 日	平成 22 年 7 月 8 日（木）～ 9 日（金）
場 所	石巻市役所 市民ホール
内 容	開催地紹介 講演（日本型 BI/IM の基礎、(株)さがみはら産業創造センター の活動事例）事例紹介 他
参加者数	64 名（総会、懇親会の部分参加も含む）
主 催	東北 IM 連携協議会
共 催	東北経済産業局、(財)日本立地センター、全国イノベーション推進機関ネットワーク、日本ビジネス・インキュベーション協会（JBIA）、 石巻市、石巻商工会議所、石巻産業創造（株）
後 援	石巻専修大学、宮城県東部地方振興事務所、石巻かほく商工会

特記事項：

石巻市から会場（含む備品）・お酒・鯨肉、見学の移動用バスをご提供いただいた。
東北経済産業局に、講師に関する経費を負担いただいた。

石巻の現状：

沿岸部の状況は、報道のような惨状である。津波の影響の無かった地域でも震災の損傷やその後の対応に追われている。見学先の日本製紙石巻工場は、被害は甚大であるが、再開の方針を打ち出し、復旧を急いでいる。石巻市の職員は、被災者対応に奔走している。

被害の少ないエリアでは、一部には業務再開の動きも見られるようになってきた。問題はあがあるが、徐々に進んでいくものと考ええる。

「東北IM連携協議会 W.S.in 大館」開催報告

(財) あきた企業活性化センター

柿崎 博美

1. 開催状況

開催日時：平成22年10月14日（木）14：00～ ワークショップ
15日（金） 9：00～ 工場見学（秋田ウッド㈱）
会場：大館市中央公民館 視聴覚ホール
参加人数：44名（各県IM、地域大学、関係機関、金融機関、企業）

2. 開催後の大館地域について

大館市役所の献身的な協力を得て成功裡に終えることが出来た。

その後、計画どおり、平成23年3月1日秋田県内では、4つ目となるメインインキュベーションとなる「大館起業支援室（3室）」が開設された。

管理運営組織は大館商工会議所が担っているものの、残念ながら未だ入居者はいない。

今後、大館商工会議所を訪問し善後策模索することとしている。

3. 秋田県の動き

昨年度から県もIMの育成に力を注ぐようになってきており、IM研修受講者は12名を数え、今年度も3名の受講を計画している。

特筆は、これまで予算化は産業経済労働部であったが、今回は、SBやCBを所管するセクションである。IMの活動分野に広がり見えるようになってきた。

有難いことである。

4. まとめ

今後、IM研修で培ってきたノウハウを生かすため秋田県内IM等のネットワーク形成が必要となっている。これについて秋田市の大野シニアIMが音頭をとり第一回目の交流会を開催している。

今後は、これを任意組織として有効に生かして生きたい。

・平成22年度収支決算報告

東北IM連携協議会ワークショップ in 石巻収支決算

平成22年7月8日～9日

(単位：円)

収入の部					支出の部				
No	名目	単価	員数	金額	No	名目	単価	員数	金額
1	参加費	1,000	32	32,000	1	コピー代			1,575
2	交流会会費	5,000	48	240,000	2	会議費(水等)			1,552
					3	交流会費			218,700
					4	菓子代(見学先へ)			630
収入合計				272,000	支出合計				222,457
差引金額									49,543

- ・講師謝金は東北経済産業局様から助成を受けております。
- ・会場及び備品、見学用バスについて石巻市様から助成を受けております。

東北IM連携協議会ワークショップ in 大館収支決算

平成22年10月14日～15日

(単位：円)

収入の部					支出の部				
No	名目	単価	員数	金額	No	名目	単価	員数	金額
1	参加費	1,000	40	40,000	1	交流会費			180,000
2	交流会会費	5,000	36	180,000	2				
					3				
収入合計				220,000	支出合計				180,000
差引金額									40,000

- ・会場借用料は東北経済産業局様、から助成を受けております。

平成22年度東北IM連携協議会収支決算書

(単位：円)

収入の部					支出の部				
No	名目	単価	員数	金額	No	名目	単価	員数	金額
1	前年度繰越金			76,027	1	ビジネスマッチ東北 備品代(白布)			840
2	WS in 石巻残金			49,543	2	同上振込手数料			420
3	WS in 大館残金			40,000					
4	利息			11					
収入合計				165,581	支出合計				1,260
差引金額									164,321

差引金額合計 164,321 円は平成23年度事業への予備費とする。

監査報告

平成22年度東北IM連携協議会の収支決算並びに関係書類について監査した結果、いずれも適正に処理されていることを認めます。

平成23年6月27日

監事 横山 繁美

監事 佐藤 利雄

(2) 第2号議案

・平成23年度事業計画案について

1. ワークショップ開催事業

- ・東北IM連携協議会ワークショップ in 上山 (6月27日～28日)
- ・東北IM連携協議会ワークショップ in 仙台 (10月31日～11月1日)
(J B I Aシンポジウムとの併催で行う。)
- ・ビジネスマッチ東北2011への出展及びマッチング支援
- ・J B I A、東北経済産業局、日本立地センター、イノベーションネットとのIMワークショップ開催等の連携

2. IM関連情報の発信

- ・東北IM連携協議会(TAIM)ホームページ作成
- ・全国各地域IM連携組織の事業等について、会員への情報発信
- ・メーリングリストによる情報発信

東北IM連携協議会(一般会員:70名)

メーリングリストの概要

アドレス: taim01@freeml.com

システム: www.freeml.com を利用。

管理者: 斉藤方達(テクノプラザみやぎ)

東北IM連携協議会(役員用:11名)

アドレス: touhoku-im@freeml.com

システム: www.freeml.com を利用。

管理者: 斉藤方達(テクノプラザみやぎ)

3. 事業計画立案や活動内容検討

- ・有志による分科会を立ち上げ、協議会活動計画や人事も含む方向性を検討する。

4. その他協議会の目的に資する事業

- ・日本立地センター、J B I A、東北経済産業局、基盤整備機構の事業に対する協力

(3) その他

ワークショップ輪番について

山形(fy23)⇒宮城(fy23)⇒青森(fy24)⇒岩手(fy24)⇒福島(fy25)⇒秋田(fy25)

東北 IM 連携協議会規約

第1章 総則

第1条(名称)

本会は、「東北 IM 連携協議会」(Tohoku Association of IM . 略称「TAIM」)と称する。

第2条(目的)

本会は、会員相互の連携を図り、東北地域におけるインキュベーション活動および地域の発展に資することを目的とする。

第3条(活動)

本会は、目的達成のために以下の活動を実施する。

- 1)情報発信及び情報共有
- 2)会員や関係機関のネットワーク形成
- 3)会員及び関係者のスキルアップ
- 4)その他、目的達成に資する活動

第2章 会員

第4条(種別)

本会の会員は、次のとおりとする。

- 1)正会員 : インキュベーション活動を実施する団体及び個人
- 2)賛助会員: インキュベーション活動に関係する団体及び個人
- 3)名誉会員: 幹事会が承認した団体及び個人

第5条(会員情報)

本会の会員は、連絡先を本会に届けなければならない。また、変更が生じた場合も同様とする。

第3章 会議

第6条(種別)

本会は、総会及び幹事会を開催する。

- 1)総会は、全会員で構成する。
- 2)総会は、年1回の定期会と必要に応じて、臨時会を幹事会が召集する。
- 3)幹事会は、代表幹事、幹事、事務局長で構成する。
- 4)幹事会は、必要に応じて代表幹事が召集する。

第7条(議決)

会議の議決は、出席者の過半数の同意によって決し、議決内容は会員により尊重する。

第4章 組織

第8条(種別)

本会は、次の役員をおくことができる。

- 1)代表幹事及び事務局長(各1名)
- 2)幹事(若干名)
- 3)監査(若干名)

第9条(選出)

幹事、監査は総会において選出する。

代表幹事及び事務局長は、幹事の中から互選で選出する。

第10条(任期)

役員任期は三ヵ年とし、再任を妨げない。

第11条(事務局)

事務局は、事務局長の下に行う。

連絡窓口を東北経済産業局に置く。

第12条(顧問・相談役)

本会の運営の助言を行うために、次の役職を招請することが出来る。

- 1)顧問
- 2)相談役

附則

1. 総会において、出席者の2/3以上の賛同のあるときに、本規約の改正・変更ができる。
2. 代表幹事が職務の執行を出来ない場合は、事務局長が監査の同意のもと職務を代行できる。
3. 実施

本規約は平成20年2月7日より実施する